

送水管理センターほか 監視制御・計算機システム更新維持事業
総合評価にかかる評価項目及び評価基準

資料1-2

技術提案項目				求める提案内容	評価の項目(審査の視点)	配点 (加算点)	加算点の評価方法	様式
課題	分類	提案項目						
1	設計・施工業務に関する事項	全体	構成	本事業で構築する全体システムの構成について提案を求める。	<u>安定性、信頼性、保守性を考慮したシステム構築</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)①全体構成図(ネットワーク構成を含む。) ②構成機器一覧表(数量、仕様及びその選定理由を明記) イ)①安定性、信頼性の向上 ②保守性の向上 ③障害時、誤操作時の安全設計 ※要求水準書を上回り、実現性及び有効性がある提案の個数で評価する。	3	A :6個以上(3点) B :1個以上5個以下(1.5点) C :具体的な提案がない(0点)	様式別紙2-1
2				信号改修について提案を求める。	<u>信号改修に係る対象機器の範囲とその内容</u> 仮に狭山ポンプ場での送水ポンプなどの増設を想定し、各種信号(AI:5点、AO:5点、DI:20点、DO:10点)を追加する場合に必要な具体的な改造対象機器数とその内容について説明を求める。 ※改修に係る対象機器の数(少ないほど優れている。)で評価する。	3	改修に係る対象機器の数で評価する。対象機器の数が一番少ない者を、最上位者として評価する。 2位以下の評価については、最上位者の機器の数を該当者の機器数で除した数値(比率)に 配点を乗じる方式とする。(小数第2位を切捨て) A :1位(3点) B :2位以下は1位との比率で配点	様式別紙2-2
3					<u>信号改修に係る工数</u> 技術提案項目課題2と同条件における改修を行う場合の工数(工場及び現地改修の合計)について説明を求める。 ※改修に係る工数(少ないほど優れている。)で評価する。	3	改修に係る工数で評価する。工数が一番少ない者を、最上位者として評価する。 2位以下の評価については、最上位者の工数を該当者の工数で除した数値(比率)に配点を乗じる方式とする。(小数第2位を切捨て) A :1位(3点) B :2位以下は1位との比率で配点	様式別紙2-3
4		監視制御・計算機設備	機能	監視操作卓の監視操作性について提案を求める。	<u>監視操作卓の視認性や操作性</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)①監視操作卓のイメージ図 イ)①ディスプレイの視認性 ②プラント設備の操作方法 ③シートキーのスイッチレイアウトと操作性について ※要求水準書を上回り、実現性及び有効性がある提案の個数で評価する。	5	A :6個以上(5点) B :1個以上5個以下(2.5点) C :具体的な提案がない(0点)	様式別紙2-4
5				運用支援端末機の機能について提案を求める。	<u>運用支援端末機の機能</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)運用支援端末機で実現可能な支援機能 (AI、DXを活用した支援機能、自動運転の取組みを含む。) イ)機能の詳細 ※要求水準書を上回り、実現性及び有効性がある提案の個数で評価する。	7	A :6個以上(7点) B :1個以上5個以下(3.5点) C :具体的な提案がない(0点)	様式別紙2-5
6				監視操作に関する応答速度について提案を求める。	<u>LCD監視操作卓の応答時間</u> 要求水準書第2章2(2)ク(ウ)で示す監視制御設備の応答時間について提案を求める。 各種信号毎の応答時間(最大値)とその計算書を提出すること。 ※応答時間(時間が短いほど優れている。)で評価する。	7	各信号(接点信号、計測信号、積算信号、ON/OFF制御、設定値制御)について要求水準書第2章2(2)ク(ウ)で示す応答時間との比の平均値(以下「平均値」という。)を用いて評価する。 2位以下の評価については、最上位者の平均値を該当者の平均値で除した数値(比率)に配点を乗じる方式とする。(小数第2位を切捨て) A :1位(7点) B :2位以下は1位との比率で配点 C :要求水準書第2章2(2)ク(ウ)の応答時間と同等(0点)	様式別紙2-6
7		ネットワーク	機能	高度なセキュリティ対策について提案を求める。	<u>高度なセキュリティ対策</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)サイバー攻撃に対する安全設計 イ)防御機能の詳細 ※要求水準書を上回り、実現性及び有効性がある提案の個数で評価する。	3	A :6個以上(3点) B :1個以上5個以下(1.5点) C :具体的な提案がない(0点)	様式別紙2-7

8	設計・施工業務に関する事項	施工性	切替計画	監視制御設備の切替工程について提案を求める。	<u>新旧監視制御設備を切替える場合に、遠隔監視制御への影響が最小となる切替計画</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)監視制御設備の切替計画 ①遠隔監視制御に影響する範囲が少ない切替計画(影響時間を記載すること。) ②短時間での切替 ③施工フロー図 ④工程表 イ)各施設について遠隔監視制御が切替時に停止する時間 <u>※各施設における遠隔監視制御が不可となる停止時間(最大値)で評価する。</u>	5	A :2時間未満 (5点) B :2時間以上8時間未満 (2.5点) C :8時間以上 (0点)	様式別紙2－8
9			切替計画	計算機設備の早期切替えについて提案を求める。	<u>新旧計算機設備の切替えを早期に完了する切替計画</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)計算機設備の切替計画 ①計算機設備の更新を優先して行い、切替えを早期に完了することが可能な切替計画 ②施工フロー図 ③工程表 イ)計算機設備の切替えが完了する時期(既設計算機設備が停止可能となる時期) ①データ欠測が可能な限りない切替え <u>※切替時期について、遠隔監視制御に影響しない実現性のある具体的な計画(早期であるほど優れている。)で評価する。</u>	5	A :令和9年度末までに更新(5点) B :令和10年度中に更新(2.5点) C :令和11年度中に更新(0点)	様式別紙2－9
10	維持管理業務に関する事項	維持管理業務計画	維持管理業務計画	維持管理業務期間中の補修計画について提案を求める。	<u>維持管理業務における最終年度の補修計画</u> ア)に示す資料の提出を求めるとともに、イ)の観点から説明を求める。 ア)維持管理業務計画書(補修部品と周期を含む。) イ)維持管理業務終了時に、より良好な状態で引渡しが可能となる補修計画 <u>※維持管理業務における最終年度の補修内容(交換部品が多いほど優れている。)で評価する。</u>	3	A :監視制御設備、計算機設備、アクアネット大阪の全ての部品を交換(3点) B :監視制御設備、計算機設備、アクアネット大阪の主要部品を交換(1.5点) C :AとB以外(0点)	様式別紙2－10
11			補修部品調達能力	補修部品の調達体制について提案を求める。	<u>補修部品の調達能力</u> 維持管理業務計画書でリストアップする補修部品について、緊急時にも対応できるように在庫管理(手配即納も可)がなされているか提案を求める。 (手配即納とは納入業者から迅速に手配、現場納入できる体制が確立されていることをいう。) <u>※補修部品の調達能力を在庫管理の有無(在庫する部品が多いほど優れている。)で評価する。</u>	3	A :全ての部品を在庫管理(3点) B :主要部品のみに在庫管理(1.5点) C :AとB以外 (0点)	様式別紙2－11
12			故障時対応	システムの異常時において、迅速な復旧を目的とした実施体制と故障時の対応について提案を求める。	<u>本事業で整備した設備の故障時などにおける、故障調査及び緊急時対応が可能な保守拠点</u> 保守拠点について提案を求める。(保守拠点から送水管理センターまでの直線距離を記載すること。) <u>※保守拠点から、送水管理センターまでの直線距離で評価する。</u>	3	A :50km未満(3点) B :50km以上100km未満(1.5点) C :100km以上(0点)	様式別紙2－12
13	施工実績に関する事項	施工実績	工事成績点に係る減点	大阪府又は大阪広域水道企業団発注(単価契約によるものを除く。)の電気工事で、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間において完成検査を受け、工事成績点70点未満と判定された実績の有無		-1	大阪府又は大阪広域水道企業団発注工事における工事成績点の減点 ・70点未満(過去1か年度の取得成績点)	申請の必要なし
				加算点合計		50		